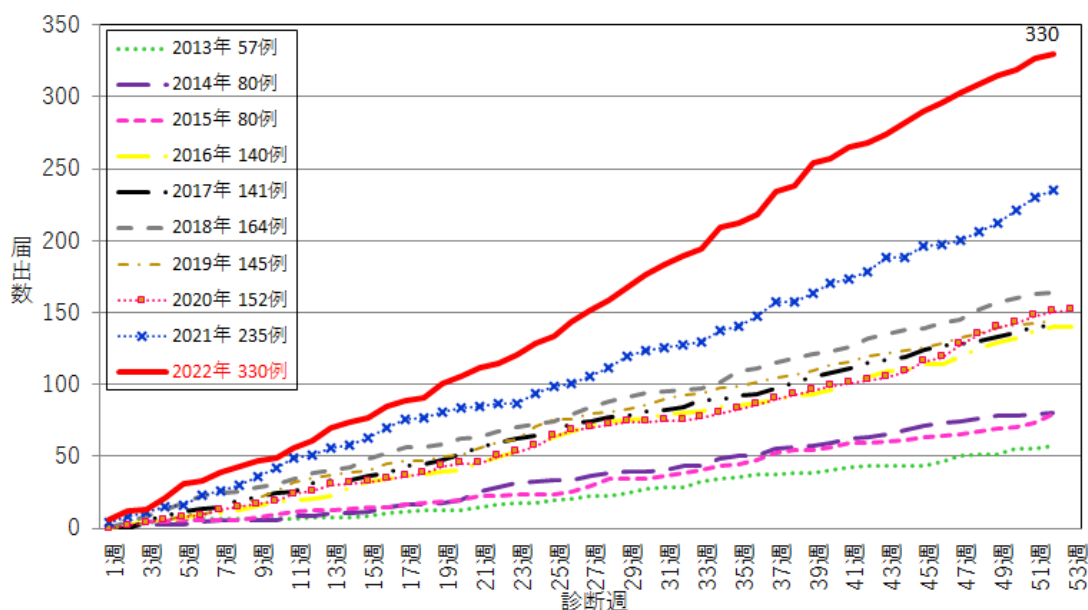


## 【今週の注目疾患】

## 《梅毒》

2022年第1週から第52週までに県内医療機関から届出のあった梅毒の年間累積届出数は330例であった（図1）。2022年は1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、初めて梅毒の年間累積届出数が300例を超えた。梅毒は2年連続で過去最多を更新し、増加傾向が継続している。

図1：2013年～2022年52週千葉県の梅毒年別累積届出数（N=1524）



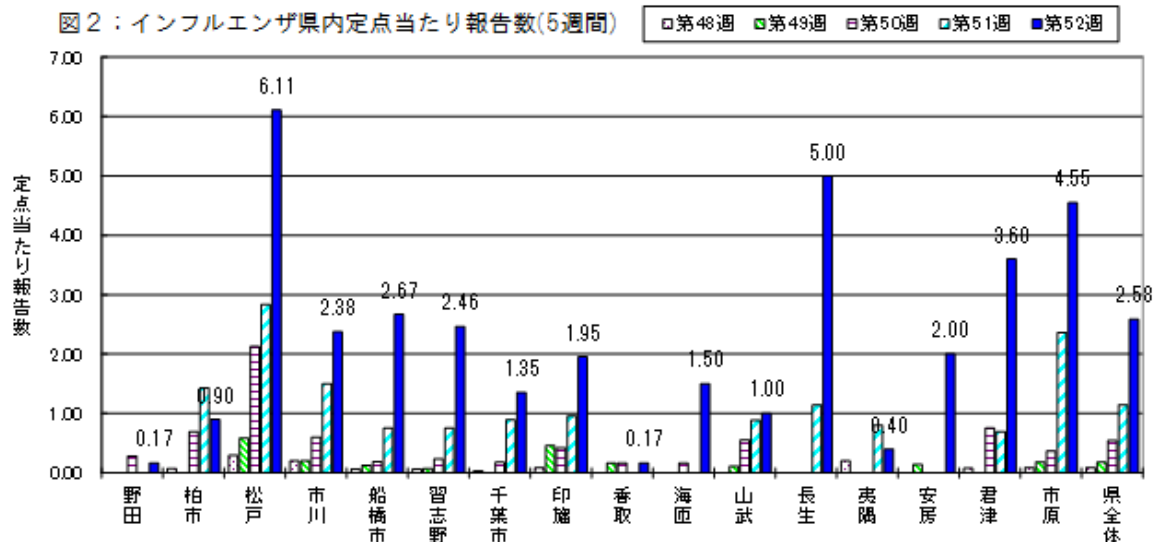
2022年第52週までに県内医療機関より届出のあった梅毒330例のうち、性別では男性228例（69%）、女性102例（31%）であり、男性が多かった。年代別では、男性は40代70例（31%）、30代56例（25%）が多く、次いで20代47例（21%）であった。女性では20代が57例（56%）で5割以上を占めた。2022年は現時点で、先天梅毒の症例は報告されていないが3例の妊娠症例が報告されている。

病型別では男性では早期顕症梅毒第Ⅰ期（以下、第Ⅰ期）が138例（61%）と6割以上を占めていた。女性では早期顕症梅毒第Ⅱ期（以下、第Ⅱ期）が53例（52%）と最も多く、比較的早期の報告である第Ⅰ期は23例（23%）にとどまった。特に女性の10代においては無症候期（無症状病原体保有者）もしくは第Ⅱ期の報告のみであり、第Ⅰ期の報告はなかった。

梅毒は、梅毒トレポネーマを原因とする細菌感染症である。主な感染経路は菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。予防としては、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本となる。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている<sup>1,2)</sup>。早期発見・早期治療が重要である。再感染を予防するため、パートナーもともに検査を受けることが推奨される。県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、（公財）ちば県民保健予防財団への委託による検査を実施している。受検を希望する方は活用されたい。なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況に伴い変更される場合もあるので、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい<sup>3)</sup>。

《インフルエンザ》

2022年第52週の県全体のインフルエンザ定点当たり報告数は前週（2022年第51週）の1.12（人）から増加し、2.58（人）であった。保健所管内別では松戸6.11（人）、長生5.00（人）、市原4.55（人）が多かった（図2）。



2022年第52週に報告のあった429例のうち、A型308例（72%）、B型2例（0.4%）、型非鑑別キットで陽性84例（19.6%）、検査未実施（検査実施未確認例含む）35例（8%）であり、A型が多かった。年齢群別では、20代が84例（19.6%）で最も多く、次いで15～19歳が76例（17.7%）、5～9歳が65例（15.2%）であった。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種が有効である。しかし、インフルエンザワクチンは重症化予防や発症をある程度抑える効果が期待できるが、発病を必ずしも防ぐわけではないことから、基本的な感染対策の徹底も重要となる<sup>4)</sup>。

・基本的な感染対策

- 1 外出後の手洗い
- 2 適度な湿度の保持
- 3 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 4 人混みや繁華街への外出を控える
- 5 室内ではこまめに換気する

■参考

1)国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

2)厚生労働省：梅毒に関する Q&A

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryousyphilis\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryousyphilis_qa.html)

3)千葉県：千葉県内のエイズ等相談・検査

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html>

4)厚生労働省：令和4年度インフルエンザ Q&A

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/QA2022.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/QA2022.html)